

大豆 小3

が美味しい美山のおみそに大変身！

3年生は下吉田みそ加工グループから南さんと黒田さんに来ていただき、みそ作りを教わりました。3年生は国語科「すがたをかえる大豆」の学習で、大豆について学ぶ機会があります。今回は実際に自分たちの手によって、大豆が姿を変えて新しい食品に生まれ変わる様子を、手で、香りで、見た目でも体験しました。



続・美山のお宝 美山牛乳編

総合的な学習の時間では、美山のお宝をもっと探るべく、3学期は美山牛乳について調べました。まずは弓立牧場へ見学に行き、今井さんの案内で牧場の乳牛から絞られた生乳が美山牛乳の工場へ運ばれるまで、えさのことや、牛たちの様子など詳しくお話を聞かせていただきました。

続いて、美山ふるさと株式会社美山牛乳の工場から、竹村さんに来ていただき、美山牛乳が製品になるまでのお話を聞かせていただきました。美山牛乳が「美山」という地名が付けられた特別な牛乳であることや、美山牛乳のおいしさのひみつがどこにあるのか教えていただきました。そこにはさすが美山のお宝と思えるたくさんの工夫や苦労がありました。



美山から世界へつながっているって知ってた？



日本の産業、町の産

小5 業



5年生は社会科で、産業について学習します。これまで、農業について学習してきましたが、美山町のような小さな町での工業はどうでしょうか？宮島にある宇治電器工業さんの工場を見学させていただくことにしました。

通学途中で前を通る児童もあり、名前は知っているけれど何を作っている工場なのかは知りませんでした。

中に入ると、目の前には電子ピアノが置かれています。お話を聞くと美山の工場で作られているピアノやLED製品が、世界各国へ出荷されていると分かり、子どもたちはとても驚いていましたが、どこか誇らしい気持ちにもなりました。



美山学では、さまざまな体験学習を実施する際に、地域の匠に指導をお世話になっています。

美山の自然を使った草木染め体験では、柳生みどりさんに来ていただき、道端や土手に生えているヨモギなどの草木や、玉ねぎの皮を使って布を染める体験をしました。



また、しめ縄体験では岡本勝さんと谷一さんに来ていただき、縄をなうところから、ひとつひとつ丁寧に作業を教えてくださいました。平均年齢90歳近いおふたりと子どもたちのやりとりは、しめ縄の技以上に教わることの多い体験となりました。



4年生は「美山のふくしは笑顔のふくし」と題して、これまで高齢者福祉について学習してきました。3学期に入ると、車いす体験などを通して障がい者福祉について学習を始めました。

今回は、ふない聴覚言語障害センターにお願いして蒲原さんと勝山さんに来ていただきました。はじめに平屋地区にお住いの蒲原さんに手話を教えていただきました。テレビドラマなどで手話をみたことはあるけれど、実際に見て使うのは初めての子どもたちです。蒲原さん

と勝山さんが手話でお話をされる様子に、みんな興味津々です。

また、蒲原さんご自身の体験や生活について、ろう者と聴者でどんなことが違うのかなど、実際に道具を見せていただいたりしながらお話していただきました。蒲原さんが楽しくお話をされる様子に、子どもたちも一緒に笑顔になる楽しい時間となりました。

子どもたち自身も、自分たちのまわりの福祉について考え、自分に何ができるかを考えるきっかけとなったようです。



京都桑田村のみなさんと、いろいろな

昔
小1

あそびに挑戦

1年生は季節ごとに、昔の遊びや自然を使った遊びを体験しています。冬の遊びは、鶴ヶ岡の豊郷地区から京都桑田村のみなさんに昔の遊びを教えていただきました。

グラウンドではリム回し、缶ぼっくり、凧揚げ、教室ではお手玉、ふくわらい、けん玉、かるたあそび、体育館ではコマ回し、竹とんぼ、ワラを使った神輿作りとたくさんの遊びを体験しました。15名のみなさんが、それぞれの遊びを担当してくださり、どの遊びも丁寧に教えていただきました。

特に初めて体験する子が多かったリム回しや缶ぼっくり、竹とんぼ、神輿作りは、初めは上手にできなかったのですが、みなさんにコツを教えていただくとみるみる上達し、みんな夢中になって遊びました。体験したことのあったお手玉やコマ回しも、桑田村きっての名人がおられ、その見事な技にみんな目を丸くしていました。器用

に手先を使って遊ぶ昔の遊びは、やり始めるととても面白く、大人も子どもも夢中になりました。またやりたい、一緒に遊びたいと多くの子が感想を発表しました。



ホームページでは学校の様子を公開中です！美山学の取組についても紹介しています。

